

無線通信研究委員会

SG6 会合 (ジュネーブ)

報告書(案)

2019年4月5日

目次

1. まえがき	2
2. 議事概要	2
3. SG6 会合報告	6
3.1 開会あいさつ	6
3.2 アジェンダの承認	7
3.3 会議進行に関する連絡	7
3.4 前会合の概要	7
3.5 Status of texts	7
3.6 各 WP の会合報告、出力文書審議	7
3.6.1 WP 6A 報告概要	7
3.6.2 WP 6B 報告概要	11
3.6.3 WP 6C 報告概要	13
3.7 SG6 へのその他の文書	17
3.7.1 CCV/SCV 関連	17
3.7.2 IRG-AVA, IRG-AVQA 及び IRG-IBB の報告	17
3.7.3 他の SG、国際機関とのリエゾン文書	17
3.7.4 その他のリエゾン文書	18
3.7.5 その他の文書	19
3.8 2019 年の会合予定	20
3.9 その他	20
3.10 閉会	20
表 1 日本代表团 SG6 会合参加者	21
表 2 入力文書一覧(49 件)	22

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）の第 6 研究委員会（SG 6：放送業務）が、下記の通り開催された。（敬称略）

開催日 : 2019 年 4 月 5 日（金）（1 日間）
開催地 : ITU 本部（スイス・ジュネーブ）
議長 : 西田 幸博（日本）
副議長 : Roger BUNCH（オーストラリア）、Christoph DOSCH（ドイツ）、Ana Eliza FARIA E. SILVA（ブラジル）、Angaman KESSE（コートジボアール）、Andrey LASHKEVICH（ロシア）、Amir Hassan NAFEZ（イラン）、Walid SAMI（EBU）、Qingjun ZENG（中国）

欠席 : Abdullah AL ARAIMI（オマーン）、Majeed ABDULRAHMAN（レバノン）、Rajiv KAPOOR（インド）、Andrew KISAKA（タンザニア）、Khalilou Dit Papa NIANE（セネガル）、Paolo ZACCARIAN（イタリア）

参加者 : 24 개국、11 の認められた企業や地域機関から合わせて 79 名（名簿登録者）が参加。
主な国・機関からの参加者数は、中国 10 名、ブラジル 3 名、英国 4 名、ロシア 3 名、米国 3 名、ドイツ 2 名、BBC 3 名、EBU 3 名である。日本からは表 1 に示す 8 名が参加した。

2. 議事概要

今会合は今研究会期の第 7 回会合であり、3 つの WP 会合に続いて開催された。

主な審議結果を以下に列挙する。

本 SG6 会合における主な審議結果

種別	件数	審議結果
新勧告案	2	仮採択 ¹ （全てに PSAA ² を適用）
勧告改訂案	4	仮採択（全てに PSAA を適用）
勧告エディトリアル改訂案	1	承認 ³
新研究課題案	1	採択 ⁴
研究課題改訂案	4	採択
研究課題廃止案	2	採択
新レポート案	3	承認
レポート改訂案	12	承認

1 厳格に表現すれば「採択・承認手続きに進めることに合意した」ということになるが、これを「仮採択」と表記することにする。

2 会合後に、新勧告案および勧告改訂案に対して SG での採択と構成国による承認を同時に実施する手続きが PSAA(the procedure for simultaneous adoption and approval)。詳細は決議 ITU-R 1-7 の § A.2.6.2 を参照。SG 会合で構成国からの反対意見が無い限り PSAA による。但し、無線通信規則が参照している勧告は 2 段階手続きとなる。

3 勧告のエディトリアル改訂、新レポート案・レポートの改訂・廃止、新オピニオン案・オピニオンの改訂は SG 会合で承認される。

4 新研究課題案および研究課題改訂案は SG 会合の後、構成国による承認手続き、または RA により承認される。

[1] 新勧告案 : 2 件

- Doc.6/306 Draft new Recommendation ITU-R BS.[NEW1286] - Methods for the subjective assessment of sound systems with accompanying picture
新勧告案 BS.[NEW1286] 「映像を伴う音響システムの主観評価法」
- Doc.6/308(Rev.1) Draft new Recommendation ITU-R BS.[RENDERER] - ADM renderer for advanced sound systems
新勧告案 BS.[RENDERER] 「先進的音響システムのための ADM レンダラー」

[2] 勧告改訂案 : 4 件

- Doc.6/300 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2111-0 - Specification of colour bar test pattern for high dynamic range television systems
勧告 BT.2111-0 改訂提案 「HDR-TV システムのためのカラーバーテストパターンの仕様」
- Doc.6/310 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.1114 - Systems for terrestrial digital sound broadcasting to vehicular, portable and fixed receivers in the frequency range 30-3 000 MHz
勧告 ITU-R BS.1114 改訂案 「30-3000MHz 帯の車載、携帯、固定受信機向け地上デジタル音声放送システム」
- Doc.6/316 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.1660 - Technical basis of planning of terrestrial digital sound broadcasting in the VHF band
勧告 ITU-R BS.1660 改訂案 「VHF 帯における地上デジタル音声放送のプランニングの技術基準」
- Doc.6/321 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2036 - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems
勧告 ITU-R BT.2036 改訂案 「地上デジタルテレビシステムの周波数プランニング用標準受信機システムの特性」

[3] 勧告エディトリアル改訂案 : 1 件

- Doc.6/329 Editorial revision of Recommendation ITU-R BT.1833-3 - Broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception by handheld receivers
勧告 BT.1833-3 エディトリアル改訂案 「携帯受信機による移動受信のためのマルチメディア・データ放送」

[4] 新研究課題案 : 1 件

- Doc.6/328 Draft new Question ITU-R [AVA]/6 - Systems for enabling access to broadcast and cooperative media for persons with disabilities
新研究課題案 ITU-R [AVA]/6 「障がい者の放送へのアクセス性を高めるシステム」

[5] 研究課題改訂案 : 4 件

- Doc.6/303 Draft revision of Question ITU-R 142-2/6 - High dynamic range television for broadcasting
研究課題 142-2/6 改訂案「放送のための高ダイナミックレンジテレビ」
- Doc.6/327 Draft revision of Question 131/6 - Common core data format for multimedia broadcasting
研究課題改訂案 131/6「マルチメディア放送の共通コアデータ形式」
- Doc.6/331 Draft revision of Question ITU-R 130-2/6 - Digital interfaces for production, post-production and international exchange of sound and television programmes for broadcasting
研究課題改訂案 130-2/6「音声・テレビ番組の制作、後処理、国際番組交換用デジタルインタフェース」
- Doc.6/332 Draft revision of Question ITU-R 137/6 - Internet Protocol (IP) interfaces for the transport of broadcast programmes
研究課題改訂案 137/6「放送番組伝送用 IP インタフェース」

[6] 研究課題廃止案 : 2 件

- Doc.6/305 Proposed suppression of Question ITU-R 128-2/6 - Digital 3DTV systems for broadcasting
研究課題 128-2/6 廃止案「放送のためのデジタル 3DTV システム」
- Doc.6/307 Proposed suppression of Question ITU-R 40-3/6 - Extremely high-resolution imagery
研究課題 40-3/6 廃止案「超高精細度映像」

[7] 新レポート案 : 3 件

- Doc.6/301 Draft new Report ITU-R BT.[TM-ITM] - Methods for conversion of high dynamic range content to standard dynamic range content and vice-versa
新レポート案 BT.[TM-ITM]「HDR コンテンツから SDR コンテンツへ及びその逆の変換方法」
(BT.2446 として発行済み)
- Doc.6/302 Draft new Report ITU-R BT.[AI] - Artificial intelligence systems for programme production and exchange
新レポート案 BT.[AI]「番組の制作・交換のための人工知能(AI)システム」
(BT.2447 として発行済み)
- Doc.6/325 Draft new Report ITU-R BT.[SIGNING] - Technical realisation of signing in digital television
新レポート案 ITU-R BT. [SIGNING]「デジタルテレビにおける手話放送の技術的実現方法」
(BT.2448 として発行済み)

[8] レポート改訂案：12 件

- Doc.6/299(Rev.1) Draft revision of Report ITU-R BT.2245-5 - HDTV and UHDTV including HDR-TV test materials for assessment of picture quality
レポート BT.2245-5 改訂案「HDR-TV を含む HDTV および UHDTV の映像品質評価用テスト画像」
- Doc.6/304 Draft revision of Report ITU-R BT.2408-1 - Operational practices in HDR television production
レポート BT.2408-1 改訂案「HDR テレビ制作における運用方法」
- Doc.6/309 Draft revision of Report ITU-R BT.2390-5 - High-dynamic range television for production and international programme exchange
レポート BT. 2390-5 改訂案「制作と国際的な番組交換のための HDR-TV」
- Doc.6/311 Draft revision of Report ITU-R BS.2214 - Planning parameters for terrestrial digital sound broadcasting systems in VHF bands
レポート ITU-R BS.2214 改訂案「VHF 帯における地上デジタル音声放送システムのプランニングパラメータ」
- Doc.6/312 Draft revision to Report ITU-R BT.2382 - Description of interference into a digital terrestrial television receiver
レポート ITU-R BT.2382 改訂案「地上デジタル放送受信機への干渉」
- Doc.6/313 Draft revision of Report ITU-R BT.2343-3 - Collection of field trials of UHDTV over DTT networks
レポート ITU-R BT.2343-2 改訂案「DTT ネットワークにおける UHDTV の野外実験のコレクション」
- Doc.6/314 Draft revision to Report ITU-R BT.2386-1 - Digital terrestrial broadcasting: Design and implementation of single frequency networks (SFN)
レポート ITU-R BT.2386-1 改訂案「地上デジタル放送: SFN の設計と導入」
- Doc.6/319 Draft revision of Report ITU-R BT.2387-0 - Spectrum/frequency requirements for bands allocated to broadcasting on a primary basis
レポート BT.2387 改訂案「一次業務で放送業務に割り当てられる周波数帯のスペクトラム/周波数要件」
- Doc.6/320 Draft revision of Report ITU-R BT.2209 - Calculation model for SFN reception and reference receiver characteristics of ISDB-T system
レポート ITU-R BT.2209 改訂案「ISDB-T 方式の SFN 受信と標準受信機特性のための計算モデル」
- Doc.6/322 Draft revision of Report ITU-R BS.2384-0 - Implementation considerations for the introduction and transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting
レポート ITU-R BS.2384-0 改訂案「デジタル地上音声・マルチメディア放送の導入および移行のための考慮事項」

- Doc.6/326 Draft revision of Report ITU-R BT.2267 - Integrated broadcast-broadband systems
レポート BT.2267 改訂案「放送通信連携システム」
- Doc.6/330 Draft revision of Report ITU-R BT.2342-2 - Production, emission and exchange of closed captions for all worldwide language character sets (Latin and non-Latin)
レポート BT.2342-2 改訂案「世界の全ての言語の文字セットのための字幕の制作・送出・交換」

3. SG6 会合報告

3.1 開会あいさつ

ITU 無線通信局(BR)局長 Maniewicz 氏および SG 部門チーフ Bonomo 氏から挨拶があった。概要は以下の通り。

Maniewicz 氏 (BR 局長)

SG6 会合開催に当たり皆さんをジュネーブに迎えることができ嬉しく思う。今回 BR 局長として初めてこの場で挨拶する。SG 部門の新チーフに Bonomo 氏が就任し、5 月 1 日には BR 次長に米国の Joanne Wilson 氏が就任予定である。この体制で今年エジプトにおいて開催される RA-19 と WRC-19 に向け万全の準備ができると考えている。

SG6 議長と各 WP 議長には、この 2 週間の進捗に感謝する。

放送は、豊かな、高度で多様な情報や娯楽を我々の生活に提供するものであり、多くの国で、自然災害への意識を高めることを含め、重要な社会的・文化的な役割を担う普遍的な公共サービスであると認められている。

SG6 は、アナログ放送からデジタル放送への移行を促進し、最先端の放送技術の実現という役割を担っており、デジタル音声、デジタルテレビ、HDTV、UHDTV などの主要な基本仕様を世界に提供し、最近では HDR 番組制作や SDR との相互変換についても取組がなされている。放送をより没入感のあるものとする AIAV システムや ADM レンダラーの勧告策定を喜ばしく思う。これは関係者が協働することで ITU が達成できることを示す大きな一例である。

WRC-23 では、第 1 地域における放送は特に重要な課題である。WRC-23 の結果が放送の将来を妥協するものとならないように、SG6 が万全の準備をすることを確信している。

BR 局長として、BR は皆さんに万全の支援を提供することを約束する。

SG6 は、ICT 環境の変化を認識し、視聴者が新たなサービスを受信できる準備が整うまでは既存の放送サービスの継続を保証しつつ、高品質な AV コンテンツをどのように制作し、放送コンテンツを様々な端末にどのようにして効果的に配信すべきかを研究する必要があることを強調したい。SG6 が策定した勧告・レポート・ハンドブック世界に知らしめることも必要である。

会合の成功を祈って、私からの挨拶とする。

Bonomo 氏 (SG 部門チーフ)

今回が SG 部門チーフとして最初のスピーチである。短期間ではあったが SG6 のカウンセラーを務めたことをご存知の方もいるだろう。SG3 で活動していたことを知る方もいるかもしれない。これまで、ほぼすべての SG に関わってきたが、現在は全 SG が適切に活

動できるようにする責務を負っている。SG6 は長年にわたり多くの業績を挙げた SG であり、今後も同様に行くことを願っている。参加者の皆様に感謝するとともにこの後の会合での活躍を祈る。

続いて、SG6 議長から、RA-19 及び WRC-19 への準備の必要性が述べられた。SG6 は多くの業績を挙げており、今研究会期の各 SG 会合への寄与文書数を比較すると、他 SG の 61~181 件に対して SG6 は 335 件と他の SG と比較して圧倒的に多く、また、数の多さだけでなく、SG6 の成果は人々の生活に影響を与えてきている。放送の将来のために、この良い伝統を続けていきたい。このためには、放送の将来へのビジョンを持つ必要があり、次期研究会期の準備のためにも寄与をお願いしたい。

3.2 アジェンダの承認

SG6 議長よりアジェンダが紹介され、異議なく承認された。

3.3 会議進行に関する連絡

カウンセラー（Chang 氏）より、「INFORMATION FOR PARTICIPANTS」に基づき、事務連絡があった。

3.4 前会合の概要

SG6 議長より、前回 SG6 会合の Summary Record が紹介され、異議なく承認された。

3.5 Status of texts

SG6 が所掌する文書の審議状況等が 6/1(Rev.7)により紹介され、特段のコメントはなかった。SG6 議長より、本文書は会合後にアップデートされることが述べられた。

3.6 各 WP の会合報告、出力文書審議

3.6.1 WP 6A 報告概要

3.6.1.1 WP6A 議長の報告

- Doc.6/318 Executive report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 26 March - 3 April 2019)

「WP6A の報告」

WP6A 議長の Nafez 氏（イラン）より会合の総括があった。

前回会合の議長レポートの付録 16 件を含む 68 件の入力文書を審議し、30 件の出力文書を作成した。そのうち 10 件（勧告改訂案 3 件、レポート改訂案 7 件）を SG6 に上程し、10 件は議長レポート添付となっている。残りの 10 件は他 WP に対してのリエゾン文書である。我々の活動は続くが、CG、RG の活動を含め、今研究会期に始めた全ての研究は 7 月の次回会合で完了する見込みである。

3.6.1.2 勧告改訂案

- Doc.6/310 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.1114 - Systems for terrestrial digital sound broadcasting to vehicular, portable and fixed receivers in the frequency range 30-3 000 MHz

勧告 ITU-R BS.1114 改訂案「30-3000MHz 帯の車載、携帯、固定受信機向け地上デジタル音声放送システム」

本勧告は、30-3000 MHz で運用される車載、携帯、固定受信機向けの地上デジタル音声放送システムについて、符号化、変調、伝送の方式などを規定するものであり、System A (DAB)、System F (ISDB-T_{SB})、System C (IBOC)、System G (DRM)、System H (CDR) の仕様が記載されている。本改訂案は、“System I”として、ロシア国内で運用されている「RAVIS」の仕様を追記するものである。

修正無く、仮採択 (PSAA に進めることが合意) された。

- Doc.6/316 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.1660 - Technical basis of planning of terrestrial digital sound broadcasting in the VHF band

勧告 ITU-R BS.1660 改訂案「VHF 帯における地上デジタル音声放送のプランニングのための技術基準」

本勧告は、VHF 帯で運用される地上デジタル音声放送のプランニング基準を示すものであり、勧告 BS.1114 に規定された方式のうち、System A (DAB)、System F (ISDB-T_{SB})、System G (DRM) の情報が記載されている。

本改訂案は、米国で運用されている System C (IBOC) 「HD ラジオ」について、サービスや干渉特性に関するデータを追記し、さらに、System A (DAB) のネットワークプランニングのガイドラインに関する情報を追加するものである。

修正無く、仮採択 (PSAA に進めることが合意) された。

- Doc.6/321 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2036 - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems

勧告 ITU-R BT.2036 改訂案「地上デジタルテレビシステムの周波数プランニング用標準受信機システムの特性」

本勧告は、地上デジタル放送の周波数プランニングの検討で使用する標準受信システムを規定するものである。

本改訂案は、大電力送信所の近傍で遠方の希望局信号が受信できない場合（マスキング効果障害と呼ばれ、障害の程度は妨害波の電力や希望波とのチャンネル関係に加えて、受信機特性に依存する）に対する耐性を標準受信機特性に追加規定するものである。

修正無く、仮採択 (PSAA に進めることが合意) された。

3.6.1.3 レポート改訂案

- Doc.6/311 Draft revision of Report ITU-R BS.2214 - Planning parameters for terrestrial digital sound broadcasting systems in VHF bands

レポート ITU-R BS.2214 改訂案「VHF 帯における地上デジタル音声放送システムのプランニングパラメータ」

本レポートは、VHF 帯で運用されている地上デジタル音声放送システム（System G (DRM+) および RAVIS) のプランニングパラメータを記載したものである。

本改訂案は、System C (HD ラジオ) と System A (DAB) に関する技術情報をそれぞれ追記するものである。新たなシステムの情報を追記するにあたり、レポートの再構成（各システム共通の情報とシステム個別の情報を記載するパートを分ける等）を行っている。

修正無く、レポートの改訂が承認された。

- Doc.6/312 Draft revision to Report ITU-R BT.2382 - Description of interference into a digital terrestrial television receiver

レポート ITU-R BT.2382 改訂案「地上デジタル放送受信機への干渉」

レポート ITU-R BT.2382「地上デジタル放送受信機への干渉」は、地上デジタルテレビジョン受信機への干渉を記載したものであり、受信機の性能に対し、短時間のバースト的な干渉の有害な影響が記載されている。

本改訂案は、BNE が実施した LTE 基地局の送信信号に関する測定結果を追加するものである。LTE 基地局は常時フルパワーで信号を送信していないが、1 分の中に、1 ミリ秒～10 ミリ秒以上の間すべてのリソースブロックを使用することがしばしば確認されたことから、地上デジタル放送への隣接チャンネル干渉の検討には、LTE 基地局の最大電力に基づく評価が必要であることを示している。

修正無く、レポートの改訂が承認された。

- Doc.6/313 Draft revision of Report ITU-R BT.2343-3 - Collection of field trials of UHDTV over DTT networks

レポート ITU-R BT.2343-2 改訂案「DTT ネットワークにおける UHDTV の野外実験のコレクション」

本レポートは、各国の UHDTV に関する地上波野外伝送実験の情報を集約したものである。

本改訂案は、以下の情報を追記するものである。

- (1)日本の国プロ「ISDB-T 高度化システムの研究開発」における ISDB-T 高度化システムの概要およびシステム評価に向けた大規模野外実験の概要
- (2)中国（浙江省嘉興市）で実施された DTMB-A を用いた 4K 地上波野外実験の結果

修正無く、レポートの改訂が承認された。

- Doc.6/314 Draft revision to Report ITU-R BT.2386-1 - Digital terrestrial broadcasting: Design and implementation of single frequency networks (SFN)

レポート ITU-R BT.2386-1 改訂案「地上デジタル放送 SFN の設計と導入」

本レポートは、地上デジタル放送網の構築において SFN を設計・導入するためのガイドンスとなる情報や構築事例を集めたものである。

本改訂案は、DTMB 方式の SFN を構築する際に UTC 時刻と周波数をリファレンスとして使う手法について、フィールドテストの結果を追記する提案である。

Table 内の記載や図表番号に不備が指摘されたため、修正を加えてレポートの改訂が承認された。

- Doc.6/319 Draft revision of Report ITU-R BT.2387-0 - Spectrum/frequency requirements for bands allocated to broadcasting on a primary basis

レポート BT.2387 改訂案「一次業務で放送業務に割り当てられる周波数帯のスペクトラム/周波数要件」

本レポートは、放送（一次業務）に割り当てられた周波数帯でのアナログ/デジタルの地上テレビジョン放送の各国の実施状況に関する調査結果を集約したものである。

本改訂案は、2019年1月時点でのアルメニア、キルギス、ロシア、ウズベキスタンでの地上デジタルテレビジョン放送に関する情報を更新するものである。なお、今回の更新対象以外には、2015年7月時点の情報であることを追記する。

修正無く、レポートの改訂が承認された。

- Doc.6/320 Draft revision of Report ITU-R BT.2209 - Calculation model for SFN reception and reference receiver characteristics of ISDB-T system

レポート ITU-R BT.2209 改訂案「ISDB-T 方式の SFN 受信と標準受信機特性のための計算モデル」

本レポートは、ISDB-T 方式の SFN 環境下における受信機特性について考察するものである。

本改訂案は、マスキング効果障害への耐性を追記する勧告 ITU-R BT.2036 の改訂に関連して、その技術背景を追記するものである。

修正無く、レポートの改訂が承認された。

なお、フィリピンより、勧告 BT.2036 とレポート BT.2209 の改訂について、日本との共同作業の成果であることの紹介とともに、日本への謝意が示された。

- Doc.6/322 Draft revision of Report ITU-R BS.2384-0 - Implementation considerations for the introduction and transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting

レポート ITU-R BS.2384-0 改訂案「デジタル地上音声・マルチメディア放送の導入および移行のための考慮事項」

本レポートは、地上デジタル音声・マルチメディア放送システム（DAB、DRM、HD ラジオ、ISDB-Tmm）のシステム概要や実施状況、導入の際の考慮事項をまとめたものである。

本改訂案は、米国の HD ラジオ、ロシアの RAVIS、DRM の情報を追加するとともに、レポート全体の構成を見直し、各システムの情報を記載した Annex を本文から分離するものである。

修正無く、レポートの改訂が承認された。

以上で WP6A からの入力文書の審議は全て終了した。

3.6.2 WP 6B 報告概要

3.6.2.1 WP6B 議長の報告

- Doc.6/334 Executive Report of the meeting of Working Party 6B (1-4 April 2019)
「WP6B の報告」

WP6B 議長の Gardiner 氏（英国）より会合の総括があった。

57 件の入力文書を 4 つのサブワーキングで審議し、29 件の出力文書を作成し、そのうち 9 件の文書を SG6 に提出したことが述べられた。

3.6.2.2 新研究課題案・研究課題改訂案

- Doc.6/327 Draft revision of Question 131/6 - Common core data format for multimedia broadcasting

研究課題改訂案 131/6 「マルチメディア放送の共通コアデータ形式」

本改訂案は、IBB システムを明示的に含めるものである。

修正無く、改訂案が採択された。

- Doc.6/328 Draft new Question ITU-R [AVA]/6 - Systems for enabling access to broadcast and cooperative media for persons with disabilities

新研究課題案 ITU-R [AVA]/6 「障がい者の放送へのアクセス性を高めるシステム」

本新研究課題案は、字幕、手話、解説音声などの研究項目を示した新研究課題であり、IRG-AVA と協力して作成された。

イランから、重要な研究課題であり支持すること、ITU-R だけでなく他のグループにも新研究課題の情報を伝えるべきであるとのコメントがあった。

新研究課題の“decides”にある「motor impairment」の意味の質問（イラン）があり、体の動きに障害があることを意味している（WP6B 議長）、医療用語でありそのまま使うべき（WP6C 議長）とのコメントあったほか、この新研究課題には国連で使われている用語が多く使われている（EBU）とのコメントがあった。

修正無く、新研究課題案が採択された。

- Doc.6/331 Draft revision of Question ITU-R 130-2/6 - Digital interfaces for production, post-production and international exchange of sound and television programmes for broadcasting

研究課題改訂案 130-2/6 「音声・テレビ番組の制作、後処理、国際番組交換用デジタルインタフェース」

本改訂案は、大部分はエディトリアルであるが、現在伝送される多くの映像・音声信号形式をより広汎に示すようにするものである。

Free TV Australia から、WP6B が行ってきたこの分野の研究は過小評価されており、特に国際番組交換のための WP6B の研究活動を奨励したいとのコメントがあった。

修正無く、改訂案が採択された。

- Doc.6/332 Draft revision of Question ITU-R 137/6 - Internet Protocol (IP) interfaces for the transport of broadcast programmes

研究課題改訂案 137/6 「放送番組伝送用 IP インタフェース」

本改訂案は、IP インタフェースに関する近年の進展を反映するためのものである。

修正無く、改訂案が採択された。

3.6.2.3 勧告エディトリアル改訂案

- Doc.6/329 Editorial revision of Recommendation ITU-R BT.1833-3 - Broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception by handheld receivers

勧告 BT.1833-3 エディトリアル改訂案 「携帯受信機による移動受信のためのマルチメディア・データ放送」

本改訂案は、略語に DVB-T2 を追記するエディトリアル改訂である。

修正無く、エディトリアル改訂案が承認された。

3.6.2.4 新レポート案

- Doc.6/325 Draft new Report ITU-R BT.[SIGNING] - Technical realisation of signing in digital television

新レポート案 ITU-R BT. [SIGNING] 「デジタルテレビにおける手話放送の技術的実現方法」

本新レポート案は、デジタル放送における手話放送の技術的実現方法を記載したものである。

EBU から、重要なレポートであり支持するとのコメントがあった。また、IRG-AVA へ送付することが提案された。

WP6B 議長から、レポート承認後に IRG-AVA に知らせるリエゾン文書が用意されていることが説明された。

修正無く、新レポート案が承認された。

3.6.2.5 レポート改訂案

- Doc.6/326 Draft revision of Report ITU-R BT.2267 - Integrated broadcast-broadband systems

レポート BT.2267 改訂案 「放送通信連携システム」

本改訂案は、勧告 BT.2075「放送通信連携システム」に記載されている IBB システム間の調和のパートを追記するものである。

修正無く、改訂案が承認された。

- Doc.6/330 Draft revision of Report ITU-R BT.2342-2 - Production, emission and exchange of closed captions for all worldwide language character sets (Latin and non-Latin)

レポート BT.2342-2 改訂案「世界の全ての言語の文字セットのための字幕の制作・送出・交換」

本改訂案は、W3C の IMSC1 および EBU-TT の最新情報を反映するものである。

修正無く、改訂案が承認された。

3.6.2.6 その他

- Doc.6/333 Elements of a liaison statement from ITU-R Study Group 6 to Telecommunication Standardization Advisory Group (TSAG) on ITU inter-Sector coordination

ITU セクター間コーディネーションに関する ITU-R SG6 から TSAG へのリエゾン文書の要素

本文書は、TSAG の要求に応じて ITU-T の研究課題と ITU-R SG6 および各 WP の研究課題とで関連のある領域を確認した結果を、WP6A、WP6B、WP6C の合同で TSAG に返信するリエゾン文書である。

EBU から、このリエゾン文書を返信すると、次に何が起きるのかとの質問があり、SG6 議長から現時点では ITU-T と ITU-R の相互の関心のある領域の参考情報との位置づけであるとのコメントがあった。

エディトリアルな修正を施し、TASG に送付することに合意した。

以上で WP6B からの入力文書の審議は全て終了した。

3.6.3 WP 6C 報告概要

3.6.3.1 WP6C 議長の報告

- Doc.6/317(Rev.1) Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 25th to 29th March 2019)

「WP6C の報告」

WP6C 議長の A. Quested 氏 (BBC) より会合の総括があった。

今回は、副議長のうち Crum 氏のみでの出席だったが、他の二人もメールや web 上でサポートしてくれた。前回議長レポート添付 16 件含む 52 件の文書を 5 つの SWG で審議し、合計 27 回 (他に非公式会合 1 回) の会合を行った。42 件の出力文書のうち、12 件を SG6 に提出した。内訳は、新勧告案 2 件、勧告改訂案 1 件、新レポート案 2 件、レポート改訂案 3 件、研究課題改訂案 1 件、研究課題廃止提案 2 件、リエゾン文書のエレメント 1 件である。これらの他に、14 件のリエゾン文書を送付し、19 件は議長レポートに添付する。3 月 26 日には ITU-T SG16 のラポータを招いて safe listening について議論した。

3.6.3.2 新研究課題案・研究課題改訂案

- Doc.6/303 Draft revision of Question ITU-R 142-2/6 - High dynamic range television for broadcasting

研究課題 142-2/6 改訂案「放送のための高ダイナミックレンジテレビ」

本改訂案は、HDR-TV に関する残課題を明確化するものである。Attachment のタイトルに残っていた[Preliminary]を削除し、改訂案が採択された。

3.6.3.3 研究課題廃止提案

- Doc.6/305 Proposed suppression of Question ITU-R 128-2/6 - Digital 3DTV systems for broadcasting

研究課題 128-2/6 廃止案「放送のためのデジタル 3DTV システム」

本研究課題廃止案は、3DTV 放送への関心が薄れたことを踏まえたものである。

WP6C 議長から 3D のサービスをしている人々にとって、もはや我々からの助言は必要なく、先進的な 3D サービスが将来必要になった場合には新たな研究課題を策定すると説明された。

廃止提案が採択された。

- Doc.6/307 Proposed suppression of Question ITU-R 40-3/6 - Extremely high-resolution imagery

研究課題 40-3/6 廃止提案「超高精細度映像」

本廃止提案は、4K8K の実用化を踏まえたものである。

WP6C 議長から、超高精細映像に関しては、効果的に作業が進められ完了したという認識が示された。

SG6 議長から、既に日本では 8K 衛星放送が開始されているとコメントが述べられたことに対し、WP6A 議長の Nafez 氏から、現段階で 8K 放送を始めたのは日本だけであり、8K やそれ以上の超高精細映像の研究課題は今後も継続されるべきではないかとの意見が述べられた。WP6C 議長は、更なる研究は VR ヘッドセットなどの分野に移行しており、この研究課題の範疇には収まらない。映画のようなものや新しいテレビシステムについては新しい研究課題でカバーしていくことになる」と説明した。SG6 議長からも既に 30K という高精細な映像フォーマットの勧告も策定しており、将来は別の新たな研究課題が求められると説明された。

廃止提案が採択された。

3.6.3.4 新勧告案、勧告改訂案

- Doc.6/300 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2111-0 - Specification of colour bar test pattern for high dynamic range television systems

勧告 BT.2111-0 改訂提案「HDR-TV システムのためのカラーバーテストパターンの仕様」

本改訂案は、ランプ波形の開始位置と終了位置とそのコード値を明確化するものである。

修正無く、仮採択（PSAA に進めることが合意）された。

- Doc.6/306 Draft new Recommendation ITU-R BS.[NEW1286] - Methods for the subjective assessment of sound systems with accompanying picture

新勧告案 BS.[NEW1286]「映像を伴う音響システムの主観評価法」

本新勧告案は、既存の映像を伴う音響システムの主観評価法の勧告 BS.1286 に UHDTV と 5.1ch サラウンド音響を超える先進的音響システムを追加するものである。

Recommends の「be used」を「should be used」に修正した。

既存の勧告 BS.1286 の廃止については、廃止提案が WP6C 議長レポートに添付されるため、本新勧告が承認されれば、次回会合で廃止について審議される。

仮採択 (PSAA に進めることが合意) された。

- Doc.6/308(Rev.1) Draft new Recommendation ITU-R BS.[RENDERER] - ADM renderer for advanced sound systems

新勧告案 BS.[RENDERER] 「先進的音響システムのための ADM レンダラー」

WP6C 議長から、RG33 による長期に及び多くの組織、専門家らの作業の結晶であること、ダウンロード可能なソフトウェア (Python コード) の情報が記載されており、これを使うことでレンダラーの正しい扱い方を確認することができる」と説明された。先進的音響システムで使用する単一のレンダラーを作成するために尽力してくれた全員に感謝したいと WP6C 議長は述べた。

WP6C 議長から、勧告番号に対する脚注と勧告タイトルに対する脚注について説明がなされた。前者は ITU メンバーの標準化団体に対する本勧告への注意喚起である。後者は、この勧告の使い方に関するガイドを作成予定であることを示すものである。7 月会合で作成予定のガイドを勧告承認と同期できるように、本勧告の採択・承認を 2 段階手続きとすることが提案された。

Dosch 氏 (ドイツ) は「2 段階手続きは、通常は周波数関連の勧告に使われる手続きである。この勧告は多くの企業から早期発行が望まれているにも関わらず、2 段階の採択・承認手続きでは承認が 11 月、12 月になってしまうのは残念である。SG6 として 2 段階手続きを進めるべきという強い意向があれば反対はしないが、PSAA を望む。」とコメントした。Arasteh 氏 (イラン) は、「ITU の手続きは非常に遅いという外部からのコメントがあるのは事実であり、2 段階手続きは周波数などポリシーに関わる場合に適用される。」とコメントした。Bunch 氏 (Free TV Australia) は、2 段階手続きを支持する理由として、「内容の技術的複雑さゆえにガイドが必要であり、2 段階手続きとすればガイドの承認と勧告の承認の時期を合わせることができ、レンダラーの一貫性と実装の観点から好ましい。」と説明された。WP6C 議長はこれに対し、ユーザガイドは次回会合で作成可能であり、また、レンダラーはソフトウェアであり、動作することもわかっているが、ユーザを助けることも必要だと述べた。Dosch 氏は、本勧告にはソフトウェアが添付されており、ソフトウェアにその使用方法が記載されているはずだと述べた。さらに、Olson 氏 (米国) は PSAA を支持し、Arasteh 氏も PSAA を支持した。

これらの意見を受け、Bunch 氏からガイド策定の旨を Scope に記載し、ガイド策定後にエディトリアルに削除することが提案された。WP6C 議長より、ガイド作成予定の旨の脚注を削除し、代わりに Scope の下に注記を記載することが提案された。オフラインで文言が検討され、以下の注記が合意された。

Note: Guidelines explaining the usage of the renderer are being developed.

仮採択 (PSAA に進めることが合意) された。

3.6.3.5 新レポート案

- Doc.6/301 Draft new Report ITU-R BT.[TM-ITM] - Methods for conversion of high dynamic range content to standard dynamic range content and vice-versa

新レポート案 BT.[TM-ITM] 「HDR コンテンツから SDR コンテンツへ及びその逆の変換方法」

本新レポート案は、HDR から SDR へおよびその逆の変換方法を記載したもので、5 章の Conversion Method C に日本提案の方式が記載されている。

修正無く、新レポート案が承認された。

- Doc.6/302 Draft new Report ITU-R BT.[AI] - Artificial intelligence systems for programme production and exchange

新レポート案 BT.[AI]「番組の制作・交換のための人工知能(AI)システム」

本新レポート案は、放送番組制作・交換における AI の応用事例を示したもので、日本での事例も紹介されている。

Arasteh 氏（イラン）から、PP-18 では AI について大きな議論があったが、この分野の研究は重要であり、この成果を RA-19 に報告すべきとのコメントがあった。

修正無く、新レポート案が承認された。

3.6.3.6 レポート改訂案

- Doc.6/299(Rev.1) Draft revision of Report ITU-R BT.2245-5 - HDTV and UHD TV including HDR-TV test materials for assessment of picture quality

レポート BT.2245-5 改訂案「HDR-TV を含む HDTV および UHD TV の映像品質評価用テスト画像」

本改訂案は、中国からの提案による HDR-TV の新しい評価映像に関する情報を追加するものである。

修正無く、改訂案が承認された。

- Doc.6/304 Draft revision of Report ITU-R BT.2408-1 - Operational practices in HDR television production

レポート BT.2408-1 改訂案「HDR テレビ制作における運用方法」

本改訂案は、タイトルを Guidance for Operational Practices ...に変更し、SDR BT.709 信号と HDR BT.2100 信号の混在運用に関する内容の明確化やこれまでの HDR 制作の経験を踏まえた修正を行うものである。

Bunch 氏（Free TV Australia）から、この文書は運用方法を示すにとどまらず、HDR カメラと従来カメラの複数のカメラを用いる制作方法を示すものであり、非常に参考になる文書であるとの謝意が示された。

修正無く、改訂案が承認された。

- Doc.6/309 Draft revision of Report ITU-R BT.2390-5 - High-dynamic range television for production and international programme exchange

レポート BT. 2390-5 改訂案「制作と国際的な番組交換のための HDR-TV」

本改訂案は、HLG と SDR との「ルック」の差異の明確化、誤記訂正などを行うものである。

修正無く、改訂案が承認された。

3.6.3.7 その他

- Doc.6/315 Element of a liaison statement to Coordination Committee for Terminology (CCT) - Proposal to add broadcasting terms to the ITU Terminology Database

用語に関する調整委員会(CCT)へのリエゾン文書の要素 – ITU 用語データベースへの放送関係用語の追加提案

本文書は、CCT (Coordination Committee for Terminology) から問い合わせのあったレンダラー及びシーンベース音響に関する用語について回答するリエゾン文書である。

リエゾン文書のタイトルを Reply liaison statement..に修正し、CCT に送付することに合意した。

以上で WP6C からの入力文書の審議は全て終了した。

3.7 SG6 へのその他の文書

3.7.1 CCV/SCV 関連

- Doc.6/296 Liaison statement to ITU-R Study Group 6 - Proposal to add Broadcasting terms to the ITU Terminology Database

「ITU 専門用語データベースに放送用語を追加する提案」

SG6 が提案した音響関係の専門用語に関する CCT からの問い合わせである。

本文書は WP6C にも送付され、WP6C から提案されたリエゾン返書(6/315)に関する案件であるため、Notedとした。

3.7.2 IRG-AVA, IRG-AVQA 及び IRG-IBB の報告

- Doc.6/289 Summary Notes on the meeting of IRG-AVA - Geneva, 16 October 2018

「IRG-AVA 会合報告」

前回会合期間中に開催された IRG-AVA 会合の報告である。

既に WP6C で審議された案件であるため、Notedとした。

- Doc.6/290 Report of the IRG-IBB meeting (Geneva, 22 October 2018)

「IRG-IBB 第 9 回会合報告」

前回会合期間中に開催された IRG-IBB 会合の報告である。

既に WP6B で審議された案件であるため、Notedとした。

3.7.3 他の SG、国際機関とのリエゾン文書

3.7.3.1 セクター間コーディネーション

- Doc.6/292 Liaison statement on ITU Inter-Sector Coordination (reply to TSAG-LS11)

- Doc.6/295 Liaison statement on ITU inter-Sector coordination
- Doc.6/297 Liaison statement on ITU inter-Sector coordination

「ITU セクター間コーディネーションに関するリエゾン文書」

セクター間コーディネーションを各グループに求め、また、作業の重複を避けるため、TSAG から各 SG に対してセクター間の活動の対応関係を確認するものである。

既に全ての WP で審議された案件であるため、**Noted**とした。

3.7.4 その他のリエゾン文書

- Doc.6/291 Liaison statement on invitation to update the information in the IMT-2020 roadmap
「IMT-2020 ロードマップの情報更新に関するリエゾン文書」

IMT2020 に向けた ITU-T Joint Coordination Activity (JCA IMT2020)から、IMT2020 に関連する標準化団体 (ITU-R、ITU-T、ITU-D のすべての研究委員会、3GPP、ETSI、IEEE 等) へのリエゾン文書である。

既に WP6A で審議された案件であるため、**Noted**とした。

- Doc.6/293 Liaison statement on the new version of the home network transport (HNT) standards overview and work plan (reply to SG 15-LS141)

「ホームネットワークトランスポート(HNT)標準規格新バージョンの概要と作業計画に関するリエゾン文書」

ITU-T SG15 がまとめているホームネットワークトランスポート標準規格の概要と作業計画について、ITU-T SG9 の情報の追記を ITU-T SG15 に要求するリエゾン文書である。

英国からは、特に SG6 に何かを求めている訳でもないのに、対応不要であるとのコメントがあった。**Noted**となった。

- Doc.6/294 Liaison statement on initialization of the new work item of draft technical paper "TP.FDX-ASI: analysis of spectrum interference of in-band full duplex system"

「技術資料案「TP.FDX-ASI: 帯域内全二重システムにおけるスペクトラム干渉の解析」の新ワークアイテムの設定に関するリエゾン文書」

2018 年 11 月 21~28 日に開催された ITU-T SG9 会合で、技術資料案「TP.FDX-ASI: 帯域内全二重システムにおけるスペクトラム干渉の解析」のワークアイテムが開始されたことを伝えるリエゾン文書である。

ケーブルテレビの設備内の話であり、無線の電波を使用した放送とは関係がないため、**Noted**とした。

- Doc. 6/298 Recommendation ITU-R F.1336-5 - Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas for the fixed and mobile services for use in sharing studies in the frequency range from 400 MHz to about 70 GHz

「ITU-R 勧告 F.1336-5「400MHz-70GHz における共用検討に用いる固定・移動業務用オムニ、セクタアンテナ等の基準放射パターン」」

勧告 F.1336 の改訂を伝えるリエゾン文書である。

既に WP6A で審議された案件であるため、Noted とした。

3.7.5 その他の文書

- Doc.6/323 Establishment of a Rapporteur Group to produce a Study Group 6 future technology Expo and Workshop

「SG6 エキスポおよびワークショップに向けたラポータグループ設立」

WP6C 議長からは以下のような説明があった。

- ・ ラポータグループを設立し、イベントの内容を検討したい。
- ・ 前回会合期間中に行った簡単なデモを念頭に置いている。
- ・ BBC Blue Room に対して民生技術の放送制作利用や、放送技術の民生分野への転用などを見るよう求めている。人々が放送事業者のどのような技術を望んで使うのか、特に公共サービス分野では BBC は気にかけている。番組制作スタイルをどう変えるべきか、それが違いをもたらすのか。そうしたものは多くの背景技術や技術基準が必要である。
- ・ 例えば、第一週目の水曜の昼から金曜の昼にかけての 2.5 日程度の期間を考えていて、金曜の朝に 3 つの WP 合同のセッションを設定するなどが考えられる。
- ・ ワークショップは今のところ決まったアイデアはない。ラポータグループで決めていくので、ぜひ参加してほしい。専用サイト (Sharepoint) とメーリングリストを用意した。

以上の説明を受け議長から、各 WP ではこの提案を議論し、7 月の会合会期にイベントを開催し、技術デモとワークショップを開催することに合意したと信じている。また、この行動指針は将来を見通すうえで非常に重要であり、提案に感謝しているとし、議場からのコメントを求めた。

これに対しイランから、エキスポやデモは技術的な範囲にとどまるのかと質問があり、WP6C 議長は技術的な範囲になる (ビジネスに関するものは含まない) と応えた。

また、ドイツから開催場所を尋ねる質問があり、議長は次回会合期間中にジュネーブの ITU 施設で開催すると答えた。

以上で本文書は承認され、デモとワークショップを検討するラポータグループが設立されることとなった。また、議長から積極的な参加が促された。WP6B 議長からもコメントがあり、各 WP からの入力への感謝と、WP 議長以外のメンバーの参加が再度促された。

- Doc.6/324 Establishment of a Rapporteur Group to review ITU-R Resolutions of specific concern to Study Group 6

「SG6 に関わる ITU-R 決議見直しのためのラポータグループの設立」

議長は、SG6 に関わる ITU-R 決議の見直しを 7 月会合会期までに行うよう各 WP に依頼した文書の返答として、この文書が 3 つの WP から入力されたと説明し、最初に検討した WP6C 議長に追加の説明を求めた。

WP6C 議長からは、3 つの WP 議長が共同議長となるラポータグループを設立し、7 月までに SG6 議長に文書を入力する案が出された。

WP6A 議長からは、自身の代わりに副議長の Bunch 氏 (Free TV Australia) をラポータグループの共同議長にしたいとの申し出があり、合意された。

以上で本文書は承認され、ラポータグループが設立されることとなった。

3.8 2019 年の会合予定

SG6 議長より 6/ADM/21 に基づき 2019 年 7 月の次会合のスケジュールが紹介された。

Monday, 15 July – Friday, 26 July 2019

Start date	End date	Number of meeting days	Group
15 July 2019	19 July 2019	5	WP 6C
16 July 2019	24 July 2019	7	WP 6A
22 July 2019	25 July 2019	3 ½	WP 6B
26 July 2019	26 July 2019	1	SG 6

次期研究会期の第 1 回会合が以下のように暫定的に予定されていることが紹介された。

Monday, 3 February – Friday, 14 February 2020

Start date	End date	Number of meeting days	Group
3 February 2020	7 February 2020	5	WP 6C
4 February 2020	12 February 2020	7	WP 6A
10 February 2020	13 February 2020	3 ½	WP 6B
14 February 2020	14 February 2020	1	SG 6

3.9 その他

SG 部門で長らく入出力文書処理を担当してきた Elizabeth MOSTYN-JONES 氏の退職を祝うセッションが設けられ、SG6 ブロック会合参加者からの寄せ書き・花束・記念品の贈呈が行われた。

3.10 閉会

SG6 議長より、参加者の寄与、SG6 副議長及びステアリング委員会からの支援、通訳、カウンセラー及び事務局に対する謝意が述べられた。

以上で SG6 会合は終了した。

以上

表 1 日本代表団 SG6 会合参加者

樋口 海里	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所テレビ方式研究部 フェロー
西本 友成	日本放送協会 技術局計画管理部 副部長
三谷 将	日本放送協会 技術局計画管理部
青木 秀一	日本放送協会 放送技術研究所テレビ方式研究部
甲斐 創	(一社)日本民間放送連盟 (日本テレビ放送網株式会社 技術統括局技術開発部 担当副部長)
藤井 祐介	(一社)日本民間放送連盟 (株式会社テレビ朝日 技術戦略部)
保谷 和宏	(一社)日本民間放送連盟 (株式会社フジテレビジョン 総合技術局メディア技術推進センター技術開発部)

表 2 入力文書一覧(49 件)

	入力文書 番号 (6/)	提出元	題 名	措 置
1	[288]	Chairman, SG 6	Summary record of the sixth meeting of Radiocommunication Study Group 6 (Geneva, Switzerland, 26 October 2018)	Noted
2	[289]	IRG-AVA	Report of the IRG-AVA meeting (Geneva, 16 October 2018)	Noted
3	[290]	IRG-IBB	Report of the IRG-IBB meeting (Geneva, 22 October 2018)	Noted
4	[291]	Chairman, ITU-T JCA- IMT 2020	Liaison statement on invitation to update the information in the IMT-2020 roadmap	Noted
5	[292]	ITU-T SG 9	Liaison statement on ITU Inter-Sector Coordination (reply to TSAG-LS11)	Noted
6	[293]	ITU-T SG 9	Liaison statement on the new version of the home network transport (HNT) standards overview and work plan (reply to SG 15-LS141)	Noted
7	[294]	ITU-T SG 9	Liaison statement on initialization of the new work item of draft technical paper "TP.FDX-ASI: analysis of spectrum interference of in-band full duplex system"	Noted
8	[295]	ITU-T TSAG	Liaison statement on ITU inter-Sector coordination	Noted
9	[296]	Coordination Committee for Terminology (CCT)	Liaison statement to ITU-R Study Group 6 - Proposal to add Broadcasting terms to the ITU Terminology Database	Noted
10	[297]	ITU-T SG 11	Liaisons statement on ITU inter-Sector coordination	Noted
11	[298]	SG 5	Recommendation ITU-R F.1336-5 - Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas for the fixed and mobile services for use in sharing studies in the frequency range from 400 MHz to about 70 GHz	Noted
12	[299] (Rev.1)	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2245-5 - HDTV and UHDTV including HDR-TV test materials for assessment of picture quality	承認
13	[300]	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2111-0 - Specification of colour bar test pattern for high dynamic range television systems	仮採択 (PSAA)
14	[301]	WP 6C	Draft new Report ITU-R BT.[TM-ITM] - Methods for conversion of high dynamic range content to standard dynamic range content and vice-versa	承認
15	[302]	WP 6C	Draft new Report ITU-R BT.[AI] - Artificial intelligence systems for programme production and exchange	承認
16	[303]	WP 6C	Draft revision of Question ITU-R 142-2/6 - High dynamic range television for broadcasting	採択
17	[304]	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2408-1 - Operational practices in HDR television production	承認
18	[305]	WP 6C	Proposed suppression of Question ITU-R 128-2/6 - Digital 3DTV systems for broadcasting	採択

	入力文書 番号 (6/)	提出元	題 名	措 置
19	[306]	WP 6C	Draft new Recommendation ITU-R BS.[NEW1286] - Methods for the subjective assessment of sound systems with accompanying picture	仮採択 (PSAA)
20	[307]	WP 6C	Proposed suppression of Question ITU-R 40-3/6 - Extremely high-resolution imagery	採択
21	[308] (Rev.1)	WP 6C	Draft new Recommendation ITU-R BS.[RENDERER] - ADM renderer for advanced sound systems	仮採択 (PSAA)
22	[309]	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2390-5 - High-dynamic range television of production and international programme exchange	承認
23	[310]	WP 6A	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.1114 - Systems for terrestrial digital sound broadcasting to vehicular, portable and fixed receivers in the frequency range 30-3 000 MHz	仮採択 (PSAA)
24	[311]	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BS.2214 - Planning parameters for terrestrial digital sound broadcasting systems in VHF bands	承認
25	[312]	WP 6A	Draft revision to Report ITU-R BT.2382 - Description of interference into a digital terrestrial television receiver	承認
26	[313]	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2343-3 - Collection of field trials of UHDTV over DTT networks	承認
27	[314]	WP 6A	Draft revision to Report ITU-R BT.2386-1 - Digital terrestrial broadcasting: Design and implementation of single frequency networks (SFN)	承認
28	[315]	WP 6C	Element of a liaison statement to Coordination Committee for Terminology (CCT) - Proposal to add broadcasting terms to the ITU Terminology Database	合意
29	[316]	WP 6A	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.1660 - Technical basis of planning of terrestrial digital sound broadcasting in the VHF band	仮採択 (PSAA)
30	[317] (Rev.1)	Chairman, WP 6C	Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 25th to 29th March 2019)	Noted
31	[318]	Chairman, WP 6A	Executive report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 26 March - 3 April 2019)	Noted
32	[319]	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2387-0 - Spectrum/frequency requirements for bands allocated to broadcasting on a primary basis	承認
33	[320]	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2209 - Calculation model for SFN reception and reference receiver characteristics of ISDB-T system	承認
34	[321]	WP 6A	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2036 - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	仮採択 (PSAA)
35	[322]	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BS.2384-0 - Implementation considerations for the introduction and transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting	承認
36	[323]	WPs 6A, 6B and 6C	Establishment of a Rapporteur Group to produce a Study Group 6 future technology Expo and Workshop	合意

	入力文書 番号 (6/)	提出元	題 名	措 置
37	[324]	WPs 6A, 6B and 6C	Establishment of a Rapporteur Group to review ITU-R Resolutions of specific concern to Study Group 6	合意
38	[325]	WP 6B	Draft new Report ITU-R BT.[SIGNING] - Technical realisation of signing in digital television	承認
39	[326]	WP 6B	Draft revision of Report ITU-R BT.2267 - Integrated broadcast-broadband systems	承認
40	[327]	WP 6B	Draft revision of Question 131/6 - Common core data format for multimedia broadcasting	採択
41	[328]	WP 6B	Draft new Question ITU-R [AVA]/6 - Systems for enabling access to broadcast and cooperative media for persons with disabilities	採択
42	[329]	WP 6B	Editorial revision of Recommendation ITU-R BT.1833-3 - Broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception by handheld receivers	承認
43	[330]	WP 6B	Draft revision of Report ITU-R BT.2342-2 - Production, emission and exchange of closed captions for all worldwide language character sets (Latin and non-Latin)	承認
44	[331]	WP 6B	Draft revision of Question ITU-R 130-2/6 - Digital interfaces for production, post-production and international exchange of sound and television programmes for broadcasting	採択
45	[332]	WP 6B	Draft revision of Question ITU-R 137/6 - Internet Protocol (IP) interfaces for the transport of broadcast programmes	採択
46	[333]	WP 6B	Elements of a liaison statement from ITU-R Study Group 6 to Telecommunication Standardization Advisory Group (TSAG) on ITU inter-Sector coordination	合意
47	[334]	Chairman, WP 6B	Executive Report of the meeting of Working Party 6B (1-4 April 2019)	Noted
48	[335]	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 6/288 - 6/335)	Noted
49	[336]	Director, BR	List of participants Study Group 6 (Geneva, 5 April 2019)	Noted